

都内共同直売所における残品発生と売上停滞の原因

谷藤家信・阿部宏美*

(経営部・*南多摩農業改良普及センター)

【目的】

都内の共同直売所は、開設後数年は売上が伸びるが、その後は停滞傾向となる。特に、売上停滞に加え残品（売残り）が常態的に発生する共同直売所では、適切な出荷調整が求められる。そこで、残品発生と売上停滞の原因を生計支出との比較から明らかにし、出荷調整の参考とする。

【試験方法】

A共同直売所（売場面積 30 m²、出荷者 24 名）を事例とし、平成 12 年度の売上を集計、分析し、生計支出と比較した。

【成果の概要】

1) 表 1 に、A 共同直売所（以下 A 直売所）の平成 12 年度の売上を示した。A 直売所は各四半期及び通年の残品率がおよそ 2 割あり、残品が常態的に発生している。

2) 図 1 に、都民 1 人当たりの野菜の生計支出と A 直売所の売上の月次推移を指数で示した。A 直売所の売上推移は、生計支出の推移を大きく下回る形で乖離している。このため、常に機会ロスが生じ、売上が停滞している。通常、機会ロスは品切れを原因とするが、A 直売所では残品が常に生じていることから、売上停滞の原因をより明らかにするには、品切れと残品を同時に生じる商品供給体制を見る必要がある。

3) 表 2 に、A 直売所の品目別売上率の売上順累積が 70% まで達した野菜を示した。これらを用い、表 3 に、都民 1 人当たりの野菜の生計支出と A 直売所の売上の月次野菜類別特化係数を示した。生計支出は各月を通じて変動は少ないが、A 直売所の売上は 1～5 月は葉茎菜類に、6～8 月は果菜類に著しく特化している。このような特化が生じているのは、① A 直売所では、2 月に果菜類の入荷が全くないという例が端的に示すように、必要なアイテムと入荷量が不足していること、② 生産計画が適切になされていないため特定の品目が過剰に入荷すること、③ その結果、顧客の購買行動が制約されること、による。このため、顧客が「これ以上買えない」品目は大量の残品が生じ、「買いたい物が無い」品目は品不足による機会ロスが生じている。したがって、A 直売所のような事例では、売上停滞の原因は現象的にみれば機会ロスにあるが、本質的には、常態的な残品発生にみられるような「顧客の購買行動と乖離した商品供給体制（＝生産出荷体制）」にある。

4) このような直売所では、現行の生産・出荷体制を見直し顧客の購買行動に則った体制に変革しないかぎり、売上停滞から抜け出せない。特に大量の残品を生じている品目は、① 直売所が運営の主体性を発揮して出荷調整を推進する、② 新たな販売ルートを開拓し予定される残品を売り切る、③ 販促活動を活発化させ購入水準を高める、などが必要である。

表1 A直売所平成12年度売上実績

	入荷量 (点)	販売量 (点)	残品量 (点)	残品率 (%)	売上 (円)
平成12年度	609,042	473,684	135,358	22.2	66,773,986
第1四半期	130,912	107,822	23,090	17.6	15,515,240
第2四半期	190,468	146,494	43,974	23.1	21,076,260
第3四半期	164,669	122,265	42,404	25.8	17,117,200
第4四半期	122,993	97,103	25,890	21.1	13,072,886

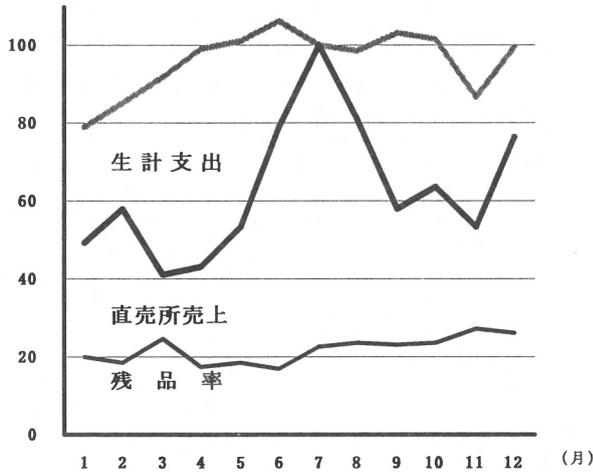


表2 累積売上率70%の野菜

売上順	葉茎菜類 12品目	果菜類 9品目	根菜類 10品目
1	ホウレンソウ	トマト	ダイコン
2	コマツナ	ナス	サトイモ
3	ネギ	キュウリ	ジャガイモ
4	ブロッコリー	サヤインゲン	ニンジン
5	キャベツ	ピーマン	タマネギ
6	ハクサイ	カボチャ	カブ
7	シュンギク	エダマメ	ゴボウ
8	フキ	シシトウ	サツマイモ
9	ナノハナ	オクラ	ナガイモ
10	モロヘイヤ		ヤツガシラ
11	ハダイコン		
12	ハシヨウガ		

資料：「平成11、12年都民のくらしむき」東京都総務局
 注：1) 指数表示は7月を100とした
 2) 生計支出額は、平成11年、12年の2か年平均により
 平年化した

図1 都民1人当たり野菜の生計支出額、A直売所売上（指数表示）及び残品率の月次推移

表3 都民1人当たり生計支出及びA直売所売上月次野菜類別特化係数

	支出特化係数			A直売所売上特化係数		
	葉茎菜類	果菜類	根菜類	葉茎菜類	果菜類	根菜類
通年	35.2	30.5	34.2	40.0	24.1	35.8
1月	44.1	24.1	31.9	60.8	0.4	38.8
2月	41.0	25.4	33.6	94.5	0.0	5.5
3月	39.3	28.4	32.4	94.4	0.0	5.6
4月	34.1	32.1	33.8	83.6	0.4	16.0
5月	31.8	38.1	30.1	57.4	7.4	35.2
6月	29.4	43.8	26.8	15.7	58.6	25.8
7月	29.1	47.7	23.1	11.4	78.1	10.5
8月	29.8	46.4	23.9	17.3	69.9	12.8
9月	31.3	39.8	28.9	22.8	49.9	27.3
10月	37.7	30.6	31.7	33.2	29.5	37.3
11月	39.7	26.0	34.3	43.4	14.8	41.8
12月	40.0	22.3	37.6	61.2	2.9	35.9

資料：「平成11、12年都民のくらしむき」東京都総務局
 注：1) 支出特化係数、売上特化係数とも、金額による
 2) 生計支出額は、平成11年、12年の2か年平均により平年化した
 3) 支出特化係数の野菜類別は、「都民のくらしむき」により「葉茎菜」、
 は記載のままとし、「果菜類」は「他の野菜」から「さやまめ」「かぼちゃ」
 「きゅうり」「ナス」「トマト」「ピーマン」を抜き出して合計